

市長 雜感
(104)

ぐずつき天候が全国を駆けめぐり、梅雨あけ修正のハブニングは愛嬌としても、気象局をあわてさせたこんな年も珍しい。その異変の延長か、このところのムシムシする暑さには閉口するが、こうした自然の変転こそ、夏場で実らず農作物にとって、またとなしい恵みとなるのだろう。

さて、今年も、収穫を待つばかりとなった五十四年産米の政府買入れ価格が、先ごろ「米価の据え置き」「品質格

差導入」というかたちで落着し、農家の生産環境は一段と複雑、不安の先行する動きが現実となつた。

今年の米価は、コメ過剰だ

ぶりを理由に、昨年に引き続いての据え置き、諸物価

もともと生産資材などの値上がりにあおられて「不本位です」と受けとめる農家も多いことだろう。加えて「うまい・まずい」で買入価格に五段階の差をつけるという品

青森といった生産量とともに低品質米の多い地帯にとって、有名タレントの司会で披露します。

昭和五十一年と五十二年に開かれて好評だった「農業祭」が、趣向も新たに復活します。

時期は十月二十七日～二十九日の三日間、場所は市民会館です。「農業祭」は、農産物の生産者である農家のみなさんと一緒に消費者の交流の場です。樂しい催し物もたくさん準備されています。ぜひ来しみにお待ちください。

予定されている主な行事は次のとおりです。

新津市民吹奏楽団演奏会

新津市民吹奏楽団演奏会